

『朝鮮語研究 7』訂正表

下記の通り訂正をいたします。

ページ数	位置	誤	正
p.8	上から 20 行目	音韻論では	音韻論では
p.20	上から 6 行目	現在もほとんど場合	現在もほとんどの場合
p.21	上から 1-2 行目	平音と激音の区別するために	平音と激音を区別するために
p.21	最下行	60 前後に	60ms 前後に
p.22	下から 2 行目	3 音節は	3 音節語は
p.23	下から 13 行目	指導の	指導を
p.25	上から 16 行目	過ぎることではないと思われる。	過ぎることではない。
p.33	上から 11 行目	머번드르르하다	꺼머번드르르하다
p.35	上から 14 行目	総用例数は 7121 例	総用例数は 7119 例
p.37	表 1	合計 7121(100.0)	合計 7119(100.0)
p.60	脚注 24	なお、この基準を～確認できている。	白、赤、青、黄に関しては澁谷秋(2016)参照。
p.79	【表 3】の下 8 行目	ケース 1 からケース 5 で 5 種類の使い分けがある。	ケース 1 からケース 5 まで 5 種類の使い分けがある。
p.81	上から 5 行目	最後に、全ての分類基準に該当しないケース 5、	最後に、全ての分類基準に該当しないケース 5 は
p.93	タイトル	현대 한국어의 <했었다> 형에 지만대하여 — ‘-는데’ との比較を中心に—	韓国語接続語尾 ‘-지만’ — ‘-는데’ との比較を中心に—
p.102	本文最下行	対立している ⁷⁾	対立している ⁷⁾ 。
p.117	本文最下行	脚注 31 の内容が抜け落ち、その後の脚注番号が全て一つずつずれている。 「習」が「어둡다(暗い)」の意であるとする こと	「習」 ³¹⁾ が「어둡다(暗い)」の意であるとする こと ³¹⁾ 『大漢和辭典』【習】㊦忽に通ず。【忽】㊦たちまち。すみやか。突然。颺に通ず。(説文通訓定聲)忽、畧借爲颺。(廣雅、釋詁一)忽、疾也。(廣韻)忽、倏忽。(左氏、莊、十一)其亡也忽焉。(注)忽、速貌。(列子、湯問) 【汉语大詞典】【習】同“吻”。1. 疾速。《文選・揚雄〈羽獵賦〉》：“昭光振耀，蠶習如神。”李善注：“蠶習，疾也……習與忽同。”… 2. 輕忽。《漢書・揚雄傳贊》：“用心於內，不求於外，於時人皆習之。”顏師古注：“習與忽同，謂輕也。” 【吻】亦作“習”。1. 天將明而未明之時；清晨。參見“吻爽”、“吻昕”。2. 昏暗。參見“吻黑”、“吻漠”。3. 昏昧，不明白。 【忽】5. 恍惚；不明貌。6. 迅速。《左傳・莊公十一年》：“桀紂罪人，其亡也忽焉。”杜預注：“忽，速貌。”《楚辭・離騷》：“忽奔走以先後兮，及前王之踵武。”王逸注：“忽，疾貌。”
pp.118-140	脚注番号	31), 32), 33), … 58)	32), 33), 34), … 59)
p.118	上から 8 行目	伺わせる ³³⁾	伺わせる ³⁴⁾ 。
p.136	脚注 55 (脚注 54 となっている)	の用例は、の用例は、	の用例は、
p.160	上から 3 行目	kyəpəkəri	kyəpəkori
p.171	下から 5 行目	朝鮮総督符	朝鮮総督府
p.172	上から 1,7,8 行目	朝鮮総督符	朝鮮総督府
p.174	付録 2 行目	評点符号	標点符号
p.188	上から 10 行目	朝鮮総督符	朝鮮総督府
p.189	下から 2 行目	朝鮮語句	朝鮮語学